

年頭のごあいさつ

占冠村長
田中 正治

占冠村議会議長
児玉 真澄

皆様、明けましておめでとうございます。令和8年の年頭に当たりまして占冠村議会を代表し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、旧年中は議会に対しまして深いご理解と議会活動への温かいご支援・ご協力を賜りましたことに議員一同厚く御礼申し上げます。

今年の干支は昭和41年以来、60年ぶりとなる「丙午(ひのえうま)」です。「丙」は十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされ、「午」は干支の7番目、古くから人間とともに生きてきた動物で独立心が強いため、「丙午」の年は勢いとエネルギーに満ちて挑戦や行動が実を結びやすく、自分の力を發揮できる年とされていますので、村民の皆さんにとって、大いなる飛躍の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

さて、現在、全国の町村議会が直面している最大の課題

約束をした政策を着実に前へ進めることが、私に課せられた責任であるとの思いを強くしているところです。

この1年を振り返ってみますと、コロナ禍を乗り越え、地域活動や経済活動が戻ってきた実感が沸く状況になつてきました。一方で、少子高齢化や後継者不在といった中で、事業縮小や離農といったこともあります。基幹産業である農林業を守り育てる努力を続けることが必要と思える年でもありました。

もう一つの基幹産業である観光産業にあつては、占冠村

は、延べ宿泊数で60万人を超えて、日本でも有数のリゾート地として定着してきました。

また、関係人口を増やすことが地域振興にもつながるといわれている中、ふるさと祭りや紅葉まつりなどのイベントも行われ、村民はもちろん多くの方が来訪され、盛会に開催されたことをうれしく思っています。

迎える新年に向けては、村長3期目のスタートの年になりますので、村民の皆さんとお約束をした政策実現や地域状況に合わせた政策実行のため、着実に前へ進めなければなりません。

本村の基幹産業である農林業や観光産業の進展、生活の基盤である福祉や医療の充実、そして教育や子育て環境の充実など、迎える新年は熱い動物に当てはめると馬ですが、60年に一度の「丙午(ひのえうま)」だそうです。「丙午」は、情熱と行動力で突き進む、燃え盛るようなエネルギーで道を切り開くといった縁起の良い干支だと考えられています。午年に生また人は情熱的で行動力がある、明るくポジティブ、独立心が強い、リーダーシップがあるといわれています。午年のイメージは元気いっぱいに駆け抜ける馬のようにエネルギーで活気ある1年です。また、困難を乗り越え、大きな発展を

しておめでとうございました。心からお喜び申し上げます。

昨年の村長選挙においては、ご理解と温かいご支援によりまして無投票で3期目の栄を与えていただき、心より感謝し厚くお礼を申し上げます。

改めて、村民の皆さんとお約束をした政策を着実に前へ進めることが、私に課せられた責任であるとの思いを強くしているところです。

この1年を振り返ってみますと、コロナ禍を乗り越え、地域活動や経済活動が戻ってきた実感が沸く状況になつてきました。一方で、少子高齢化や後継者不在といった中で、事業縮小や離農といったこともあります。基幹産業である農林業を守り育てる努力を続けることが必要と思える年でもありました。

もう一つの基幹産業である観光産業にあつては、占冠村は、延べ宿泊数で60万人を超えて、日本でも有数のリゾート地として定着してきました。

また、関係人口を増やすことが地域振興にもつながるといわれている中、ふるさと祭りや紅葉まつりなどのイベントも行われ、村民はもちろん多くの方が来訪され、盛会に開催されたことをうれしく思っています。

迎える新年に向けては、村長3期目のスタートの年になりますので、村民の皆さんとお約束をした政策実現や地域状況に合わせた政策実行のため、着実に前へ進めなければなりません。

本村の基幹産業である農林業や観光産業の進展、生活の基盤である福祉や医療の充実、そして教育や子育て環境の充実など、迎える新年は熱い動物に当てはめると馬ですが、60年に一度の「丙午(ひのえうま)」だそうです。「丙午」は、情熱と行動力で突き進む、燃え盛るようなエネルギーで道を切り開くといった縁起の良い干支だと考えられています。午年に生また人は情熱的で行動力がある、明るくポジティブ、独立心が強い、リーダーシップがあるといわれています。午年のイメージは元気いっぱいに駆け抜ける馬のようにエネルギーで活気ある1年です。また、困難を乗り越え、大きな発展を

を訪れた入込者数が146万人を超える状況になり、村内にも活気を感じることができます。ご家族そろって健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年の村長選挙においては、ご理解と温かいご支援によりまして無投票で3期目の栄を与えていただき、心より感謝し厚くお礼を申し上げます。

改めて、村民の皆さんとお約束をした政策を着実に前へ進めることが、私に課せられた責任であるとの思いを強くしているところです。

この1年を振り返ってみますと、コロナ禍を乗り越え、地域活動や経済活動が戻ってきた実感が沸く状況になつてきました。一方で、少子高齢化や後継者不在といった中で、事業縮小や離農といったこともあります。基幹産業である農林業を守り育てる努力を続けることが必要と思える年でもありました。

もう一つの基幹産業である観光産業にあつては、占冠村は、延べ宿泊数で60万人を超えて、日本でも有数のリゾート地として定着してきました。

また、関係人口を増やすことが地域振興にもつながるといわれている中、ふるさと祭りや紅葉まつりなどのイベントも行われ、村民はもちろん多くの方が来訪され、盛会に開催されたことをうれしく思っています。